

迎

春



明けましておめでとうございます。
 本年も「広報とき」をよろしくお祈りします。
 今年は、未年。「群羊を駆りて猛虎を攻む」のことわざ通り、
 皆さんとともに力を合わせて、この厳しい社会情勢に立ち向かって
 いきたいものです。
 今年一年が皆さんにとって、良い年となりますように。

二〇〇三年 年頭所感

苦難からの挑戦

土岐市長 塚本 保夫

明けまして

おめでとございます

厳しい経済情勢の中で新年を迎え、皆様と共に
 地域社会の明日を考えたいと存じます。

今から二十年ほど前には、「二十一世紀は日本の
 時代」ともてはやされる中で、十八年前のプラザ
 合意による急激な円高により、地場の美濃焼産業
 の輸出は大打撃を受けました。

さらに、十三年ほど前の東西冷戦構造の崩壊に
 よって、世界市場が単一化するのに伴い、経済が
 グローバル化する中で、中国などの安価製品の大
 量輸入による打撃が重なるとともに、バブル経済
 の崩壊による急激な資産デフレが追い打ちして、
 現在の極めて厳しい経済環境になっております。

まさに、国境の無くなった経済体制の中で、世
 界的な大競争の時代が始まっており、今や国際競
 争力のある産業構造を模索する一方で、消費者ニ
 ーズにマッチした商品を開発し、付加価値の高い
 伝統産業の再構築を図ることが重要であります。

これらの問題解決のため、国是（国の進むべき
 方針）とされつつあるのが、科学技術創造立国と
 知的財産権立国（知財立国）といわれるもので
 あります。

そうした中で、十数年来進めてまいりました
 「東濃研究学園都市構想」が着々と実現に向って
 おり、昨年末には「東濃新都市計画」に関する提
 案が世界の各国から寄せられ、その中から素晴ら

しい提案が厳重審査の上、選定されました。この
 提案は、二年後の万博開催と東海環状自動車道の
 開通と時を同じくして街開きをいたします東濃新
 都市の計画に極めて大きな力となるでしょう。

こうした計画を着実に推進し、伝統的な地場産
 業を高付加価値化するとともに、新時代を拓く新
 産業を導入することにより、若者の雇用の場をし
 っかりと確保し、所得が保証される環境を整備し
 て若者の定住志向を高めることが、高齢者に安心
 感を与える基礎にもなると確信いたしております。
 さらに、情報通信基盤の整備につかましても、教
 育現場から一般社会まで積極的に推進すべく懸命
 に取り組んでいるところであります。

また、二〇〇六年をピークに日本の人口が減少
 するといわれる中で、交流人口の重要性が指摘さ
 れておりますが、万博開催の半年前には世界の有
 名ブランド品を取り扱います「アウトレット・モ
 ール」が土岐市内で開店の予定であり、年間二百
 万から三百万人の人々が中部各県から土岐へ来訪
 されることが期待されております。当面、万博来
 場者の土岐誘導に大きな力となるででありましょ
 うし、数百人規模の新規雇用も期待されております。
 こうした遠来の人たちを、市内に誘導して土岐
 の美濃焼の良さを知っていただき、買い求めてい
 ただくことが大切であります。幸い国指定史
 跡・元屋敷陶器窯跡、道の駅「土岐美濃焼街道」
 どんぶり会館、とっくり会館、すりばち館、陶土
 う庵、伝統産業会館、（仮称）道の駅「志野・織





二〇〇三年 年頭所感

合併論議、いよいよ核心へ

土岐市議会議長 久米 要次



部」などの多彩な観光拠点が着々と整備されつつありますので、これらのルートアップが必要となつてまいります。

そして、さらに大切でありますのは、広域合併のことであり、将来性に富み地理的な中心であります土岐市の役割は大きく、効率的で無駄のない実力ある新市を建設し、市民生活の一層の安定と安心の街づくりを進めなければなりません。

皆様が納得される合併実現に懸命の努力をしながら当面の行政課題を着実に推進してまいります。幸い、上水道は昨年来の曾木町蘭仙地区通水式で全市給水体制が完成し、下水道も着実に水洗化が進んでおります。

また、少子・高齢化対策として、本年二月から乳幼児医療助成制度を拡充し、外来も含めて就学

前児童の医療費を無料化し、利用しやすい窓口無料（現物方式）といたします。

さらに、高齢社会に対応して民間活力により下石町で介護老人福祉施設が、駄知町で介護老人保健施設がそれぞれ百床規模で計画されており、ケアハウスやグループホームの整備も進みつつあります。とき陶生苑も全面改築を含む整備計画が検討されつつありますし、健康増進施設・ケアハウス曾木も検討中であります。

妻木・土岐津公民館や泉小学校など教育施設の建設や、土岐市駅に続いて、さらに広い範囲でのバリアフリー化の検討、消火栓ホースの拡充整備など、市街地再生に全力を傾注することをお誓いし年頭のご挨拶といたします。

されるよう願っているところです。

この間、土岐市議会では、三市一町の合併問題が、にわかになりに大きき取上げられることになりました。

昨年三月の首長、議長会談から、急速に具体化し始め、六月には議会の合併問題特別委員会が、そして七月には新市の合併協議会が相次いで発足し、本格的な議論が始まりました。

土岐市議会では、昨年末までに数度の特別委員会を開催し、ようやく三市一町の擦り

合わせ項目が確定した段階となりました。今年はいよいよ核心部分の議論が行われることから、昨年以上の活発な議論が必要になってまいります。

平成の合併は住民主体の合併であるといわれています。私たち議員の活動を議会だより、ホームページなどで紹介する中、市民の皆様の声を十分に反映した結論を導き出したいと考えています。

年頭にあたり、市民の皆様方のご健勝と土岐市の発展を心から念じながらごあいさつといたします。

新年明けまして

おめでとございます

市民の皆様には、お健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、依然として景気の低迷が続く中、前半にはBSE（狂牛病）に端を発した食品の偽装表示問題などが、ま

た後半には、北朝鮮による日本人の拉致問題が連日メディアをにぎわせていました。

明るいニュースといえば、サッカーのワールドカップでの日韓の大活躍、そしてノーベル賞のダブル受賞だったでしょう。

議会では、食品の偽装表示問題に対しましては、九月議

会で法改正を含めた抜本的対策を求めた意見書に関係各大臣に対して提出するなどの対応策を講じてまいりました。

拉致問題に対しましては、日朝間の関係がこう着状態にあることから、政府の対応を注意深く見守っていますが、一日でも早い解決と拉致被害者の方々への十分な配慮がな